

災害時における医薬品等供給マニュアル

災害時における医薬品等供給マニュアル

1 目的

地震等の災害発生に伴う医薬品等の供給及び薬剤師の派遣については、名古屋市地域防災計画、災害医療救護等に関する協定書及び災害医療救護等に関する協定書実施細則に定めるもののほか、このマニュアルの定めるところによる。

2 保健所

(1) 医療救護班等からの医薬品等の供給要請

災害発生直後は、医療救護班が備蓄する医薬品等を使用する。

医薬品等が不足し、医療救護班、救護所等から保健所に対して医薬品等の供給要請があった場合には様式1により受け付ける。

(2) 保健所の医薬品等の調達方法

ア 名古屋市薬剤師会（以下「薬剤師会」という。）への供給依頼

(ア) 医療救護班等からの供給要請を受けた保健所は、当該区の薬剤師会の支部長（当該区の支部長が被災等のため連絡がとれない場合は、その周辺区の支部長）に対して、様式2-1により医薬品等の供給を依頼する。

(イ) 供給依頼を受けた支部長は、供給が可能な薬局・薬店を選定し（以下「選定薬局」という。）、供給依頼をした保健所に連絡する。この際、医薬品等の供給が速やかにできるように、できる限り保健所に近い薬局・薬店を選定するように努める。

(ウ) 保健所は、供給依頼をした場合には、速やかに様式2-2により健康福祉局健康部環境薬務課（以下「環境薬務課」という。）に報告する。

(エ) 保健所は、依頼した医薬品等と様式3-1を選定薬局から受け取り署名する。また、選定薬局の控えである様式3-2にも署名する。

イ 医薬品等卸売業者への発注

(ア) 医療救護班等からの供給要請を受け、医薬品等卸売業者への調達が可能な場合には、保健所は様式2-1により発注する。

(イ) 保健所は、発注した場合には、速やかに様式2-2により環境薬務課に報告する。

(ウ) 保健所は、発注した医薬品等と納品書・請求書を医薬品等卸売業者から受け取る。

ウ 環境薬務課への供給要請

医療救護班等からの供給要請を受け、医薬品等を調達できない場合には、保健所は環境薬務課に対して様式4により医薬品等の供給を要請する。

(3) 地域医療活動拠点（保健所）における医薬品等の供給活動

被害地域が広範囲にわたる場合は、地域医療活動拠点（保健所）を中継所として、医療救護班、救護所等に対して医薬品等の供給を行う。

3 環境薬務課

(1) 総務課に被害状況を確認する。

(2) 保健医療課と連絡調整する。

ア 医療救護班の編成及び派遣状況を確認する。

イ 救護所の設置状況を確認する。

(3) 医薬品等供給センターの設置

被害状況等に応じて医薬品等供給センターを設置する。

医薬品等供給センターの設置にあたっては、被害地域、交通の便、ヘリポート設置可能場所、建築物の規模、耐震性等を考慮し選定する。

なお、選定に際しては、以下の予定場所が考えられる。

ア 災害発生直後の臨時的供給センター
名古屋市役所

イ 災害発生数日後の恒久的供給センター
緊急物資集配拠点等から選定する。

- (ア) 稲永スポーツセンター（港区）
- (イ) 戸田川こどもランド・農業文化園（港区）
- (ウ) 庄内緑地グリーンプラザ（西区）
- (エ) 千種スポーツセンター（千種区）
- (オ) 陽光館（尾張旭市）
- (カ) その他

(4) 医療救護等を円滑に実施するために必要な場合は、薬剤師会に対して薬剤師の派遣を要請する（派遣先－医療救護班、医薬品等供給センター、地域医療活動拠点（保健所）等）。

(5) 愛知県医薬品卸協同組合及び中部衛生材料協同組合に対して、医薬品等の供給が可能な業者を確認する。

確認後、保健所に情報提供する。

(6) 愛知県への供給要請

ア 保健所からの供給要請を受け、港防災センターに備蓄してある医薬品等を使用する（総務課調査統計係と調整）。備蓄医薬品等に対応できない場合は、環境業務課は愛知県健康福祉部健康担当局医薬安全課（以下「愛知県医薬安全課」という。）に対して医薬品等の供給を要請する。

供給要請時の留意点

- a 納入先（名称、所在地、連絡先、担当者名）を明示する。
- b 代金の納入先を明示する。
- c 医薬品等の供給要請は、別紙1の医薬品等リストの範囲とし、原則、別紙2のA～Fの「セット番号」による。
なお、セット番号にない医療ガス及び歯科用品、個別に医薬品等を要請する場合には、別紙1の「番号」及び「品名」による。

医薬品等の供給要請は、次のいずれかの方法による。

(ア) ファクシミリ・電子メール

様式5-1を愛知県医薬安全課の「災害時医薬品等供給要請専用FAX番号」又はメールアドレスに送付する。

併せて、愛知県医薬安全課の直通電話番号に電話する。

- a 災害時医薬品等供給要請専用FAX番号
052-953-7149
- b メールアドレス
iyaku@pref.aichi.lg.jp
iyaku-saigai-01@docomo.ne.jp（携帯メール）
iyaku-saigai-02@docomo.ne.jp（携帯メール）

(イ) 防災行政無線

様式5-1又は様式5-2により、愛知県医薬安全課に防災行政無線（電話又はFAX）を使用して通信する。

防災行政無線（無線専用電話）

8-600-1141

(ウ) 電話

様式5-2により、愛知県医薬安全課の直通電話番号に電話する。

電話番号

090-8677-0102

090-8677-0103

052-954-6304

イ 供給要請した医薬品等については、医薬品等供給センターにおいて受け取る。

(7) 他縣市への供給要請

被害状況等に応じて、中部9県1市における災害応援に関する協定書及び14大都市災害時相互応援に関する確認書による医薬品等の供給を要請する。供給要請した医薬品等については、医薬品等供給センターにおいて受け取る。

(8) 医薬品等供給センターとの連絡調整

適宜、医薬品等の受入れ、払出し、在庫状況等について医薬品等供給センターと連絡調整する。

(9) 調達の終了

医療機関等の診療機能又は卸・小売業者の流通機能の回復状況等により医薬品等の調達活動を終了する。

4 医薬品等供給センター

(1) 薬剤師派遣の要請

医薬品等供給センターの活動を円滑に実施するために必要な場合には、環境薬務課から薬剤師会に対して薬剤師の派遣を要請する。

(2) 連絡調整

適宜、医薬品等の受入れ、払出し、在庫状況等について環境薬務課と連絡調整する。

(3) 活動内容

ア 医薬品等の受入れ

(ア) 医薬品等の搬入の際には検品を行う。

なお、愛知県医薬安全課に供給要請した医薬品等の受入れの際には、要請した医薬品等と様式6-1を備蓄拠点から受け取り署名する。また、備蓄拠点の控えである様式6-2にも署名する。

(イ) 医薬品等を一時保管場所へ搬入し、仕分けを行う。なお、麻薬や向精神薬など、特に保管上注意を要する医薬品は、他の医薬品等とは別に保管する。

(ウ) 搬入された医薬品等は医薬品等在庫管理票(様式7)に記載する。

(エ) 麻薬、向精神薬、毒薬については、他の医薬品とは別の医薬品等在庫管理票(麻薬-桃色、向精神薬-青色、毒薬-黄色)(様式7)を作成して管理する。

イ 仕分け

(ア) 使用可能な医薬品等の分別

- a 医薬品等は、一時保管場所で医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器、衛生材料（マスク、ガーゼ、脱脂綿等）及びその他（特別用途食品等）に分類し、保管場所に搬入する。
- b 使用期限切れ、容器破損、水漏れ、ラベル剥離等により使用不可能と思われるものを分別し、廃棄する。

(イ) 薬効別・用途別分類

- a 医療用医薬品は、内用剤、外用剤、注射剤に分類したのち、薬効別に仕分けし、指定された場所に保管する。
- b 一般用医薬品は、内用剤、外用剤に分類したのち、用途別に仕分けし、指定された場所に保管する。
- c 医療機器、衛生材料及びその他のものは、種類、搬入量に応じて、適宜分類の上、指定された場所に保管する。
- d 薬効別、用途別に分類する際には、データベースソフトを活用する。

ウ 保管・管理

(ア) 保管

- a 保管場所の温度・湿度管理、衛生的な環境整備に十分留意し、医薬品等の品質確保を図る。
- b 注射器、輸液セット、医薬品吸入用アダプター、注射用水等のように医薬品を使用するために不可欠な資器材及び補助剤は、当該医薬品の保管場所に隣接して保管するなど、医薬品の払出し時に忘れないよう十分配慮する。
- c 麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬等、特に注意を要する医薬品は、他の医薬品と分けて、施錠可能な保管庫に保管する。

(イ) 在庫管理

- a 医薬品等の受入れ、払出し時の記録は確実に言い、常に在庫品目及び数量を把握しておく。
なお、在庫記録には、作業の効率化、在庫照会への迅速な対応を図るため、パソコンを活用する。
- b 保管中の医薬品等については、定期的に在庫量の確認を行い、欠品が生じることのないよう十分注意する。

c 麻薬や向精神薬については、盗難や紛失等を防止するため、少なくとも1日1回は在庫数量を確認し、適正管理に努める。

d 不足が予想される医薬品等がある場合は、速やかに環境薬務課に対して医薬品等の供給を要請する。

エ 払出し

(ア) 要請された医薬品がない場合は、同種同効薬を払い出すことにより対応する。なお、この場合は、医薬品等払出票（様式8）の備考欄にその品名等を朱書する。

(イ) 同種同効薬もない場合は、医薬品等払出票（様式8）の備考欄に「なし」と記載の上、準備できた医薬品等のみを払い出したのち、速やかに環境薬務課に対して供給を要請する。

(ウ) 医薬品等を払い出す際には、適宜、データベースソフトを活用し医薬品情報を文書で提供する。

(4) 医薬品等の搬送

医薬品等の輸送計画を立て医薬品等供給センターから地域医療活動拠点（保健所）、医療救護班、救護所等への輸送を効率的に行う。搬送にあたっては、運送業者及びボランティアの協力を得て迅速に行う。

5 薬剤師会

(1) 被災状況の把握

地域の薬局や薬剤師の被災状況を把握する。なお、指示があれば、支部長及び理事は保健所に駆けつける。

(2) 医薬品等の供給

ア 保健所から様式2-1により供給依頼を受けた支部長は、供給が可能な薬局・薬店を選定し、供給依頼をした保健所に連絡する。この際、医薬品等の供給が速やかにできるように、できる限り保健所に近い薬局・薬店を選定するように努める。

イ 選定薬局は、依頼を受けた医薬品等と様式3-1を保健所に搬入する。また、選定薬局の控えである様式3-2に保健所の署名を受ける。

ウ 後日、選定薬局は、供給した医薬品等の代金に関する請求書（様式9）を供給依頼をした保健所に提出する。

(3) 薬剤師の派遣

環境薬務課からの薬剤師派遣の要請に基づき、派遣者を編成し、医療救護班、医薬品等供給センター、地域医療活動拠点（保健所）等に派遣する。

(4) 医療救護班での役割

医療救護班に派遣された薬剤師は、受診患者に対する調剤及び服薬指導を行う。

(5) 医薬品等供給センターでの役割

医薬品等供給センターに派遣された薬剤師は、医薬品等の受入れ、仕分け、保管・管理、払出し、医薬品情報の提供等を行う。なお、これらの業務を行う際には、パソコンを有効活用する。

ア 医薬品等の受入れ

(ア) 医薬品等の搬入の際には検品を行う。

なお、愛知県医薬安全課に供給要請した医薬品等の受入れの際には、要請した医薬品等と様式6-1を備蓄拠点から受け取り署名する。また、備蓄拠点の控えである様式6-2にも署名する。

(イ) 医薬品等を一時保管場所へ搬入し、仕分けを行う。なお、麻薬や向精神薬など、特に保管上注意を要する医薬品は、他の医薬品等とは別に保管する。

(ウ) 搬入された医薬品等は医薬品等在庫管理票（様式7）に記載する。

(エ) 麻薬、向精神薬、毒薬については、他の医薬品とは別の医薬品等在庫管理票（麻薬－桃色、向精神薬－青色、毒薬－黄色）（様式7）を作成して管理する。

イ 仕分け

(ア) 使用可能な医薬品等の分別

a 医薬品等は、一時保管場所で医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器、衛生材料（マスク、ガーゼ、脱脂綿等）及びその他（特別用途食品等）に分類し、保管場所に搬入する。

b 使用期限切れ、容器破損、水漏れ、ラベル剥離等により使用不可能と思われるものを分別し、廃棄する。

(イ) 薬効別・用途別分類

a 医療用医薬品は、内用剤、外用剤、注射剤に分類したのち、薬効別に仕分けし、指定された場所に保管する。

b 一般用医薬品は、内用剤、外用剤に分類したのち、用途別に仕分けし、指定された場所に保管する。

c 医療機器、衛生材料及びその他のものは、種類、搬入量に応じて、適宜分類の上、指定された場所に保管する。

d 薬効別、用途別に分類する際には、データベースソフトを活用する。

ウ 保管・管理

(ア) 保管

a 保管場所の温度・湿度管理、衛生的な環境整備に十分留意し、医薬品等の品質確保を図る。

b 注射器、輸液セット、医薬品吸入用アダプター、注射用水等のように医薬品を使用するために不可欠な資器材及び補助剤は、当該医薬品の保管場所に隣接して保管するなど、医薬品の払出し時に忘れないよう十分配慮する。

c 麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬等、特に注意を要する医薬品は、他の医薬品と分けて、施錠可能な保管庫に保管する。

(イ) 在庫管理

a 医薬品等の受入れ、払出し時の記録は確実にを行い、常に在庫品目及び数量を把握しておく。

なお、在庫記録には、作業の効率化、在庫照会への迅速な対応を図るため、パソコンを活用する。

b 保管中の医薬品等については、定期的に在庫量の確認を行い、欠品が生じることのないよう十分注意する。

c 麻薬や向精神薬については、盗難や紛失等を防止するため、少なくとも1日1回は在庫数量を確認し、適正管理に努める。

エ 払出し

(ア) 要請された医薬品がない場合は、同種同効薬を払い出すことにより対応する。なお、この場合は、医薬品等払出票（様式8）の備考欄にその品名等を朱書する。

(イ) 同種同効薬もない場合は、医薬品等払出票（様式8）の備考欄に「なし」と記載の上、準備できた医薬品等のみを払い出す。

(ウ) 医薬品等を払い出す際には、適宜、データベースソフトを活用し医薬品情報を文書で提供する。

災害医薬品等備蓄一覧表

番号	薬効分類	製剤名又は品名	剤型	備蓄数量	備考
1	催眠鎮静剤・抗不安剤 112	ジアゼパム 10mg	注射剤	4,400	
2	解熱鎮痛消炎剤 114	(局) スルピリン注射液 25%1ml	注射剤	3,200	
3		ペンタゾシン 15mg	注射剤	5,300	
4		(局) インドメタシン坐剤 25mg ジクロフェナクナトリウム坐剤 25mg	坐剤	5,300	
5		局所麻酔剤 121	(局) 塩酸プロカイン注射液 2%2ml (局) リドカイン注射液 1%10ml 塩酸メピバカイン 1%10ml リドカイン・エピネフリン (カートリッジ) 1.8ml1管	注射剤	2,300
6		塩酸リドカイン 2%1ml	ゼリー	7,900	
7	鎮けい剤 124	硫酸アトロピン注射液 0.05%1ml	注射剤	2,100	
8		臭化ブチルスコポラミン 2%1ml	注射剤	2,700	
9	強心剤 211	(局) アミノフィリン注射液 2.5%10ml 安息香酸ナトリウムカフェイン 10%1ml ジプロフィリン 15%2ml	注射剤	2,600	
10		塩酸ドバミン 100mg5ml 塩酸ドバミン 0.1%200ml 塩酸ドブタミン 100mg	注射剤	2,700	
11		(局) ジゴキシリン注射液 0.025%1ml (局) デスラノシド注射液 0.02%2ml	注射剤	4,400	
12		不整脈用剤 212	塩酸プロプラノロール 0.1%2ml	注射剤	500
13	塩酸アブリンジン 50mg5ml 塩酸ベラパミル 0.25%2ml		注射剤	500	
14	利尿剤 213	フロセミド 20mg	注射剤	1,700	
15	血管拡張剤 217	ニフェジピン 10mg	カプセル剤	4,400	
16		ニトログリセリン 5mg10ml ニコランジル 2mg 塩酸ジルチアゼム 10mg	注射剤	900	
17		(局) ニトログリセリン 0.3mg	舌下錠	1,000	
18		その他の循環器官用薬 219	D-マンニトール 20%500ml (袋) 濃グリセリン・果糖 200ml	注射剤	1,600
19	呼吸促進剤 221	(局) ジモルホラミン注射液 1.5%3ml (局) ジモルホラミン注射液 1.5%2ml	注射剤	2,500	
20	副腎ホルモン剤 245	(局) エピネフリン注射液 0.1%1ml (局) ノルエピネフリン注射液 0.1%1ml	注射剤	3,500	
21		コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム 500mg コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム 1g コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム500mg コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム1g リン酸ヒドロコルチゾンナトリウム 500mg10ml	注射剤	3,500	

番号	薬効分類	製剤名又は品名	剤型	備蓄数量	備考
22	外皮用殺菌消毒剤	(局) 消毒用エタノール 500ml	液剤	800	
23		グルコン酸クロルヘキシジン 5%500ml	液剤	800	
24		(局) グルコン酸クロルヘキシジン液 20%500ml	液剤	500	
25		ポピドンヨード 10%250ml	液剤	500	
26		(局) クレゾール石けん液 500ml	液剤	800	
27	化膿性疾患用剤	硫酸カナマイシン 20mg/g 塩酸テトラサイクリン 30mg/g クロラムフェニコール 20mg/g 硫酸ゲンタマイシン 1mg/g	軟膏剤	12,500	
28		硫酸フラジオマイシン 10.8mg 10cm×10cm	貼付剤	4,400	
29	眼痛・眼痒・収斂・消毒剤	284	パップ剤 10cm×14cm枚	パップ剤	4,400
30	糖類剤	323	(局) ブドウ糖注射液 5%500ml (袋)	注射剤	2,400
31		(局) ブドウ糖注射液 50%20ml	注射剤	2,400	
32	血液代用剤	331	(局) 生理食塩液 500ml (袋) 生理食塩液 500ml (袋)	注射剤	800
33		(局) 生理食塩液 100ml 生理食塩液 100ml	注射剤	4,800	
34		乳酸リンゲル液 500ml (袋)	注射剤	2,400	
35		電解質輸液(維持液) 500ml (袋)	注射剤	2,400	
36		止血剤	332	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 0.5%10ml トラネキサム酸 10%10ml	注射剤
37	スポンゼル 10cm×7cm枚 スポンゼル 5cm×2.5cm枚×3		吸収性スポンジ	900	
38	解毒剤	392	(局)炭酸水素ナトリウム注射液 7%20ml	注射剤	2,000
39	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	613	アンピシリンナトリウム 1g ピペラシリンナトリウム 1g	注射剤	2,200
40	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	613	セファゾリンナトリウム 1g セファロチンナトリウム 1g 塩酸セフォチアム 1g セフメタゾールナトリウム 1g	注射剤	2,200
41		セファクロル 250mg セファレキシム 250mg	カプセル剤	10,200	
42		(小児用) セファクロル 100mg/g (小児用) セフィキシム 50mg/g	細粒剤	10,200	
43	主としてグラム陽性菌・マイコプラズマに作用するもの	614	エリスロマイシン 200mg (小児用) クラリスロマイシン 50mg ステアリン酸エリスロマイシン 200mg	錠剤	10,200
44	毒素及びトキソイド類	632	(局) 沈降破傷風トキソイド 0.5ml	注射剤	2,000
45	血液製剤類	634	抗破傷風人免疫グロブリン 250国際単位 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン 250国際単位	注射剤	100

災害用衛生材料備蓄一覧表

番号	分 類	品 名	規 格	備蓄数量	備 考	
1	医療用器具類	輸血・輸液器具	輸液セット (50セット)	静脈針付 TS-A458PK027	50	
2			小児輸液セット (50セット)	静脈針なし TK-A200LK	20	
3			輸血セット (50セット)	静脈針付 TB-A400L	20	
4			留置針 (50本入)	18G SR-0T1851C	10	
5			留置針 (50本入)	22G SR-0T2232C	10	
6			翼付静脈針 (50セット)	18G SV-18CLK	15	
7			翼付静脈針 (50セット)	22G SV-22CLK	15	
8	注射用器具	注射器 (ディスポ) (100本入)	5ml 22G針付	200		
9		注射器 (ディスポ) (100本入)	10ml 21G針付	130		
10		注射器 (ディスポ) (50本入)	20ml 針なし	50		
11		注射針 (ディスポ) (100本入)	18G	25		
12		注射針 (ディスポ) (100本入)	21G	15		

災害用衛生材料備蓄一覧表

番号	分 類	品 名	規 格	備蓄数量	備 考	
13	医療用器具類	固定器具	副木 (10本入)	大 2.5cm×10cm×81cm	70	
14			副木 (10本入)	中 2cm×8cm×62cm	70	
15			副木 (10本入)	小 2cm×6cm×50cm	70	
16	衛生材料	三角巾	三角巾	大	2,660	
17		綿球	滅菌綿球 (20袋函入)	径 1cm 30球入20袋	170	
18			滅菌綿球 (20袋函入)	径 2cm 20球入20袋	170	
19		絆創膏	絆創膏 (微小孔付) (12巻入)	2.5cm×9m	80	
20			絆創膏 (紙テープ) (10巻入)	9mm×10m	80	
21			粘着性伸縮包帯 (12巻入)	25mm×5m	80	
22			粘着性伸縮包帯 (6巻入)	50mm×5m	80	
23			絆創膏 (1巻)	12mm×5m	870	
24			絆創膏 (1巻)	50mm×5m	610	
25			救急絆 (300枚入)	S 12mm×55mm	240	
26			救急絆 (200枚入)	M 19mm×72mm	530	
27			救急絆 (100枚入)	L 50mm×72mm	710	
28			包帯	伸縮包帯 (10巻入)	5cm×9m	80
29				伸縮包帯 (10巻入)	7.5cm×9m	80
30		包帯 4裂反巻 (1巻)		28cm×9m	280	
31		包帯 5裂反巻 (1巻)		28cm×9m	530	
32		包帯 6裂反巻 (1巻)		28cm×9m	280	
33		網包帯 肘・足・腕用 (1巻)		3cm×20m	80	
34		網包帯 膝・大腿用 (1巻)		4cm×20m	80	
35		網包帯 手用 (1巻)		5cm×20m	80	
36		脱脂綿		カット綿	4cm×4cm 500g	170
37			カット綿	8cm×15cm 500g	170	
38		ガーゼ	滅菌ガーゼ (1枚袋入100袋)	7.5mm×7.5mm 12枚重	170	
39			ガーゼ四ツ折 (300枚1袋)	30cm×30cm 四つ折	80	
40			ガーゼ八ツ折 (300枚1袋)	30cm×30cm 八つ折	80	
41		綿棒	綿棒 片綿 (10袋)	処置用15cm 100本袋入	40	
42		油紙	油紙 (100枚入)	38cm×26.5cm	170	
43	シート	防水シート (滅菌済)	1m×1.2m	2,660		
44	手袋	手術用手袋 (20双函入)	No. 7	70		
45		手術用手袋 (20双函入)	No. 7.5	70		
46		プラスチック手袋 (100枚函入)	Hサイズ	40		

歯科用医薬品

番号	一般的名称	商品名・規格	備考
1	歯科用歯肉包帯剤	サージカルパックN	
2	歯科用脱脂綿	ポールメン	
3	歯科用表面麻酔剤	歯科用キシロカインポンプスプレー	
4	歯科用浸潤・伝達麻酔剤	キシロカインカートリッジ	
5	(雑品)	ローラーコットン	

歯科用医療用具

番号	一般的名称	商品名・規格	備考
1	歯鏡	歯科用平面ミラー	
2	刃	替刃メス	
3	その他の非吸収性縫合糸	ナイロン製縫合糸	
4	滅菌済プラスチック製縫合糸	滅菌済針付縫合糸	
5	歯科用滅菌済注射針	歯科用注射針	
6	手術用手袋	手術用手袋	
7	歯鏡柄	ミラーホルダー	
8	歯科用探針及び歯周ポケット探針	片頭エキスプローラー	
9	ピンセット	治療ピンセット	
10	その他の注射器具	浸潤麻酔用カートリッジ	
11	歯科用スプーンエクスカーター及びチゼル	エクスカーター	
12	歯科用起子及び剥離子	歯齦剥離子	
13	歯科用てこ及びエレベーター	エレベーター 直、反	
14	鉗子	抜歯鉗子 1.8 10S 21 27 32	
15	鉗子	破骨鉗子	
16	鉗子	新型残根鉗子	
17	やすり	片頭骨やすり 3本組	
18	せん刀	歯肉切除バサミ 直、曲	
19	刀	替刃メス用ホルダー	
20	ピンセット	外科用ピンセット	
21	鉗子	止血鉗子	
22	持針器	持針器	
23	のみ	片頭骨のみ 3本組	
24	つち	外科用マレット	
25	開孔器	開口器	
26	縫合糸	縫合針	
27	(雑品)	外科用バット	
28	(雑品)	のう盆	

災害用医療ガス備蓄要請表

番号	品名	規格	供給指示・要請数量		備考
1	吸入用気体酸素	(小瓶) 1,500L			
2		(小瓶) 500L			
3		() L)			
4	医療用亜酸化窒素	(小瓶) 7.0kg			
5		(小瓶) 2.5kg			
6		() kg)			
7	医療用窒素	(小瓶) 1,500L			
8		(小瓶) 500L			
9		() L)			
10	医療用二酸化炭素	(小瓶) 1,500L			
11		(小瓶) 500L			
12		() L)			
13	エチレンオキサイド				
14	一般吸入用呼吸器	呼吸器 (減圧弁酸素 流量計付)			
15		カニューラ			
16		マスク			

備蓄医薬品等供給要請セット番号

Aセット（注射薬）〈50人分〉

番号	薬効分類	製剤名又は品名	剤型	規格	数量	備考
1	催眠鎮静剤・抗不安剤	ジアゼパム 10mg	注射剤	10A	5	
3	解熱鎮痛消炎剤	ペンタゾシン 15mg	注射剤	10A	5	
5	局所麻酔剤	(局) 塩酸プロカイン注射液 2%2ml (局) リドカイン注射液 1%10ml 塩酸メピバカイン 1%10ml	注射剤	5V	2	
8	鎮けい剤	臭化ブチルスコポラミン 2%1ml	注射剤	10A	5	
10	強心剤	塩酸ドバミン 100mg5ml 塩酸ドバミン 0.1%200ml 塩酸ドブタミン 100mg	注射剤	10A	1	
19	呼吸促進剤	(局) ジモルホラミン注射液 1.5%3ml (局) ジモルホラミン注射液 1.5%2ml	注射剤	30A	2	
20	副腎ホルモン剤	(局) エピネフリン注射液 0.1%1ml (局) ノルエピネフリン注射液 0.1%1ml	注射剤	20A	2	
21		コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム 500mg リン酸ヒドロコルチゾンナトリウム 500mg10ml	注射剤	1V	10	
33	血液代用剤	(局) 生理食塩液 100ml 生理食塩液 100ml	注射剤	10V	5	
36	止血剤	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム 0.5%10ml	注射剤	10A	5	
38	解毒剤	(局) 炭酸水素ナトリウム注射液 7%20ml	注射剤	10A	10	
39	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	アンピシリンナトリウム 1g ピペラシリンナトリウム 1g	注射剤	10V	5	
40	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	セファゾリンナトリウム 1g セファロチンナトリウム 1g 塩酸セフォチアム 1g セフメタゾールナトリウム 1g	注射剤	10V	5	

Bセット（輸液）〈50人分〉

番号	薬効分類	製剤名又は品名	剤型	規格	数量	備考
30	糖類剤	(局) ブドウ糖注射液 5%500ml (袋)	注射剤	10V	1	
31		(局) ブドウ糖注射液 50%20ml	注射剤	10A	1	
32	血液代用剤	(局) 生理食塩液 500ml (袋) 生理食塩液 500ml (袋)	注射剤	1V	10	
34		乳酸リンゲル液 500ml (袋)	注射剤	1V	10	
35		電解質輸液（維持液） 500ml (袋)	注射剤	1V	10	

Cセット（内用・外用薬）〈50人分〉

番号	薬効分類	製剤名又は品名	剤型	規格	数量	備考
4	解熱鎮痛消炎剤	(局) インドメタシン坐剤 25mg ジクロフェナクナトリウム坐剤 25mg	坐剤	50個	1	
17	血管拡張剤	(局) ニトログリセリン 0.3mg	舌下錠	100錠	1	
27	化膿性疾患用剤	硫酸カナマイシン 20mg1g 塩酸テトラサイクリン 30mg1g クロラムフェニコール 20mg1g 硫酸ゲンタマイシン 1mg1g	軟膏剤	1本	10	
28		硫酸フラジオマイシン 10.8mg 10cm×10cm	貼付剤	10枚	5	
37	止血剤	スポンゼル 10cm×7cm1枚 スポンゼル 5cm×2.5cm1枚×3	吸収性スポンジ	3枚	3	
6	局所麻酔剤	塩酸リドカイン 2%1ml	ゼリー	5本	1	
22	外用用殺菌消毒剤	(局) 消毒用エタノール 500ml	液剤	1本	3	
24		(局) グルコン酸クロルヘキシジン液 20%500ml	液剤	1本	2	

災害用衛生材料備蓄要請表

Dセット (注射器) <50人分>

番号	分類	品名	規格	数量	備考
8	医療用器具類 注射用器具	注射器 (ディスポ) (100本入)	5ml 22G針付	1	
9		注射器 (ディスポ) (100本入)	10ml 21G針付	1	
10		注射器 (ディスポ) (50本入)	20ml 針なし	1	
11		注射針 (ディスポ) (100本入)	18G	1	

Eセット (輸血、輸液器具) <50人分>

番号	分類	品名	規格	数量	備考
1	医療用器具類 輸血・輸液器具	輸液セット (50セット)	静脈針付 TS-A456PK027	2	
2		小児輸液セット (50セット)	静脈針なし TK-A200LK	1	
3		輸血セット (50セット)	静脈針付 TB-A400L	2	
4		留置針 (50本入)	18G SR-0T1851C	1	
5		留置針 (50本入)	22G SR-0T232C	1	
6		翼付静脈針 (50セット)	18G SV-18CLK	1	
7		翼付静脈針 (50セット)	22G SV-22CLK	1	

Fセット (固定器具、衛生材料) <50人分>

番号	分類	品名	規格	数量	備考	
13	医療用器具類 固定器具	副木 (10本入)	大 2.5cm×10cm×81cm	1		
14		副木 (10本入)	中 2cm×8cm×82cm	1		
15		副木 (10本入)	小 2cm×6cm×50cm	1		
16	衛生材料	三角巾	大	20		
17		綿球	滅菌綿球 (20袋函入)	径 1cm 30球入20袋	2	
19		絆創膏	絆創膏 (微小孔付) (12巻入)	2.5cm×9m	2	
20			絆創膏 (紙テープ) (10巻入)	9mm×10m	2	
26			救急絆 (200枚入)	M 19mm×72mm	1	
28		包帯	伸縮包帯 (10巻入)	5cm×9m	1	
29			伸縮包帯 (10巻入)	7.5cm×9m	1	
30			包帯 4裂反巻 (1巻)	28cm×9m	1	
32			包帯 6裂反巻 (1巻)	28cm×9m	1	
33			網包帯 肘・足・腕用 (1巻)	3cm×20m	1	
35			網包帯 手用 (1巻)	5cm×20m	1	
36		脱脂綿	カット綿	4cm×4cm 500g	1	
38		ガーゼ	滅菌ガーゼ (1枚袋入100袋)	7.5mm×7.5mm 12枚重	10	
42		油紙	油紙 (100枚入)	38cm×26.5cm	1	
46		手袋	プラスチック手袋 (100枚函入)	Mサイズ	1	

医 薬 品 等 受 付 票

年 月 日

医 薬 品 等 名	規 格	数 量	備 考

要 請 者	
名 称	
所 在 地	
連 絡 先	

↓

保 健 所

医薬品等依頼票

年 月 日

医薬品等名	規格	数量	備考

上記のとおり医薬品等の供給を依頼します。

保健所



名古屋市薬剤師会		区支部長	卸売業者
名 称			
所 在 地			
連 絡 先			

医薬品等依頼票

年 月 日

医薬品等名	規格	数量	備考

上記のとおり医薬品等の供給を依頼しましたので報告します。

保健所



環境薬務課

(納入先手渡用)

様式3-1

医 薬 品 等 納 品 票

年 月 日

医 薬 品 等 名	規 格	数 量	備 考

上記のとおり医薬品等を納入します。

選 定 薬 局	
名 称	
所 在 地	
連 絡 先	

↓

保 健 所

受領者署名	
-------	--

(選定薬局の控え)

様式3-2

医薬品等納品票

年 月 日

医薬品等名	規格	数量	備考

上記のとおり医薬品等を納入します。

選定薬局	
名称	
所在地	
連絡先	

↓

保健所

受領者署名	
-------	--

医薬品等要請票

年 月 日

医薬品等名	規格	数量	備考

上記のとおり医薬品等の供給を要請します。

保健所



環境薬務課

A

(発信)平成 年 月 日 時 分
(発信医療 機 関 名)
TEL () FAX ()

→
要請

(受信) 月 日 時 分
宛先 市町村長様

B

(発信)平成 年 月 日 時 分
(発信市 町 村 名)
TEL () FAX ()

→
要請

(受信) 月 日 時 分
宛先 愛知県災害対策本部殿

C

(発信)平成 年 月 日 時 分
(発信) 愛知県災害対策本部 愛知県健康福祉部医薬安全課
TEL 090-8677-0102 FAX 090-8677-0103 052-961-3010 052-953-7149

→
要請

(受信) 月 日 時 分
宛先 医薬品・衛生材料 医療ガス・歯科材料 様

次のとおり、医薬品等の供給を要請・指示します。

納入先	名 称			
	所在地			
	連絡先	()	担当者	
代金請求区分	ア 要請市町村 イ 納入先へ直接 ウ その他 ()			
供給要 請医薬 品等	セット番号 又は 医薬品等番号及び品名	数 量	備 考	

(供給要請時の留意点)

①備蓄拠点からの納入先(名称、所在地、連絡先、担当者名)を明示する。

②代金の請求先を明示する。

③備蓄医薬品等の供給要請は、別に定める医薬品リストの範囲とし、原則、「セット番号」による。

なお、セットにない医療ガス及び歯科用品、個別に医薬品等を要請する場合には、別表の「番号」及び「品名」による。

(電話送受信用)

発信者 氏名	TEL ()	受信日時	平成 年 月 日
	FAX ()		午前・午後 時 分
		受信者	

医薬品等の供給要請内容

納入先	名称			
	所在地			
	連絡先	()	担当者	
代金請求区分	ア 要請市町村 イ 納入先へ直接 ウ その他 ()			
供給要 請医薬 品等	セット番号 又は 医薬品等番号及び品名	数量	備考	

処 理 状 況	月 日 時 分	担当者
へ要請・指示済み		

(納入先手渡用)

宛 先	様
-----	---

納入日時	平成	年	月	日
	午前・午後		時	分
納入業者名	TEL ()			

次のとおり、医薬品等を納入します。

納入先	名 称			
	所在地			
	連絡先	()	担当者	
代金請求区分	ア 要請市町村 イ 納入先へ直接 ウ その他 ()			
供給要 請医薬 品等	セット番号 又は 医薬品等番号及び品名	数 量	備 考	

受領者 署名	(月 日 時 分)
-----------	------------------------

納入 担当者	
-----------	--

(備蓄業者の控え)

宛 先	様
-----	---

納入日時	平成 年 月 日	午前・午後	時	分
納入業者名	TEL ()			

次のとおり、医薬品等を納入します。

受領先	名 称			
	所在地			
	連絡先	()	担当者	
代金請求区分	ア 要請市町村 イ 納入先へ直接 ウ その他 ()			
供給要 請医薬 品等	セット番号 又は 医薬品等番号及び品名	数 量	備 考	

受領者 署 名	(月 日 時 分)
------------	------------

納 入 担 当 者	
--------------	--

医 薬 品 等 在 庫 管 理 票

用途区分	医療・一般	医薬品等名		
規格単位		会社名		
保管方法	常温・冷蔵	ロット番号		
規制区分	普通薬・処方せん薬・毒薬・劇薬・向精神薬・麻薬	種 別	内用剤・外用剤・注射剤・衛生材料	
剤 形	錠剤 ・ 散剤 ・ 細粒 ・ 顆粒 ・ 丸剤 ・ パッカル ・ カプセル ・ シロップ ・ 液剤 ・ 注射剤 ・ 坐剤 ・ 浣腸剤 ・ 軟膏剤 ・ その他 ()			

年月日	受 入 状 況			払 出 状 況					在庫数量	備 考
	搬入者	数 量	受領者	払出先	数 量	受領者所属	氏 名	引渡者		

医 薬 品 等 払 出 票

年 月 日

医 薬 品 等 名	規 格	数 量	備 考

上記のとおり医薬品等を払い出します。

環 境 薬 務 課
(医薬品等供給センター)



保 健 所

請 求 書

平成 年 月 日

(あて先) 名 古 屋 市 長

(請求者) 住 所

氏 名

請求金額 金 円

添 付 書 類 : 明 細 書